

令和7年度わかばやし若者まちづくりプロジェクト支援事業

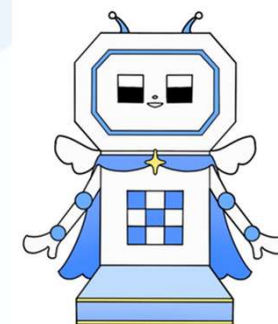
『高齢者向けのスマホ教室』 事業に関する活動発表



TGU情報リテラシー教室
代表 浅野圭亮

TGU情報リテラシー教室とは？

- 団体名：TGU情報リテラシー教室（2024年2月14日に設立）
- 所属：東北学院大学 情報学部
- 概要：学生が主体となり、地域と連携しながら、小学生や高齢者を対象に情報リテラシー教育を行う学生団体
- メンバー：東北学院大学情報学部の学生有志。91名が所属 [1年53名/2年19名/3年19名]
- 目的：すべての世代が安心してデジタル社会を生き、互いに支え合いながら豊かに学び合う地域社会の実現。
- エリア：仙台市
- 事業：
 - ① 親子で学ぼう情報リテラシー教室（8回開催/延べ59名参加）
 - ② 高齢者向けスマホ教室（6回開催/延べ97名参加）
 - ③ 出前授業（27件開催/延べ430名参加）
 - ④ 出店（8回開催/延べ7カ所）
- 実績：令和6年度仙台市ユースチャレンジ！コラボプロジェクト【採択】
令和7年度若林区まちづくり活動助成対象事業【採択】
令和7年度わかばやし若者まちづくりプロジェクト支援事業【採択】



活動内容（2025年度）

01 小学生向け情報リテラシー教室

- 開催：毎月第3土曜日 10時～11時
- 対象：小学4～6年生と保護者
- 会場：東北学院大学 未来の扉センター
- 予算：若林区まちづくり活動助成事業

全8回・59名参加

02 高齢者向けスマホ教室

- 開催：毎月第1土曜日 14時～15時
- 対象：若林区在住の高齢者
- 会場：若林区中央市民センター
- 予算：わかばやし若者まちづくりプロジェクト支援事業

全6回・97名参加

03 出前授業

- 実施内容：情報モラル教育、SNS講座、オンラインゲームとの向き合い方、プログラミング教室、スマホ教室

全27回・430名参加

04 出店

- 遊びコーナー：輪投げ、射的、シューティングゲーム
- 飲食出店：フランクフルト、フローズンチョコバナナ、ポップコーン、ソフトドリンク

全8回・7カ所

事業概要

誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化を

目的

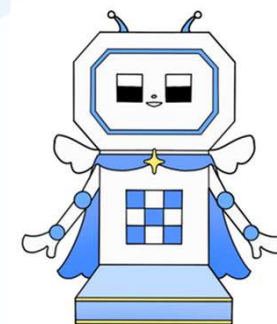
デジタル化が進む社会の中で、スマートフォンの操作に不安を抱える高齢者に対し、基本的な使い方やトラブル対応、地域情報・行政サービスへのアクセス方法などを丁寧に伝えることで、デジタル格差の解消と高齢者の生活の質向上を目指す。

対象

仙台市若林区に在住の高齢者

内容

- ①電源の入れ方
- ②ボタン操作の仕方
- ③電話のかけ方
- ④カメラの使い方
- ⑤地図アプリの使い方
- ⑥いぐすペイのインストール
- ⑦みやぎポイントのインストール



課題の提示

デジタル格差の拡大

スマートフォンの普及が進む一方で、高齢者の中には使い方がわからず、必要な情報にアクセスできない方が少なくありません。

社会的孤立の深刻化

LINEやビデオ通話などのコミュニケーション手段を使えず、家族や地域とのつながりが減り、孤立感を深める要因となっています。

行政・医療サービスのアクセス困難

診断予約や行政手続きがオンライン化される中、スマホ操作ができず支援制度や医療サービスを活用できない場合があります。

開催日時

【第1回】

2025年9月6日(土)14:00～16:00 @若林区中央市民センター 第1会議室 1名

【第2回】

2025年10月5日(日)14:00～16:00 @若林区中央市民センター セミナー室A・B 23名

【第3回】

2025年11月1日(土)14:00～16:00 @若林区中央市民センター セミナー室A・B 20名

【第4回】

2025年12月7日(日)10:00～12:00 @若林区中央市民センター 第1会議室 19名

【第5回】

2026年1月24日(土)14:00～16:00 @若林区中央市民センター セミナー室A・B 14名

【第6回】

2026年2月1日(土)14:00～16:00 @若林区中央市民センター セミナー室A・B 20名

広報

お茶を飲みながら楽しく行います！

シニア向け スマホ教室

東北学院大学の
学生がやさしく
サポートします！

参加費：無料
対象：若林区在住の
高齢者

どうやるんだ？
分からないな...

詳細

【開催日】 1/24(土)、2/1(日)
【時間】 14時～15時
【場所】 若林区中央市民センター
(仙台市若林区南小泉1-1-1)
【定員】 50名
【持ち物】 スマートフォン

スマホ教室では
こんなことが学べます！

- ✓ 地図アプリの使い方
- ✓ いぐすペイの紹介
- ✓ スマホについての個別相談

主催 / TGU情報リテラシー教室

お問い合わせ先 TGU情報リテラシー教室
Mail: tgu.datascience@gmail.com (代表 浅野圭亮)

この教室は、若林区まちづくり推進部の「わかばやし若者まちづくりプロジェクト支援事業」の助成を受けて行っています。

Instagram X オープンチャット

開催日時

第5回 1月24日(土) 14時～15時

場所：若林区中央市民センター セミナー室A・B
内容：地図アプリの使い方、いぐすペイの紹介

第6回 2月1日(日) 14時～15時

場所：若林区中央市民センター セミナー室A・B
内容：地図アプリの使い方、いぐすペイの紹介

お申込み方法

以下の連絡先に、必要事項（①お名前、②電話番号、③参加希望日）をご連絡のうえ、ご予約ください。

●お電話が繋がらない場合は、留守番電話にメッセージを残していただけますようお願いいたします。

☎ 000-0000-0000（浅野）

※受付時間：9:00～19:00 **予約なしで当日参加も可能です！**



【配布地区】

- ・南小泉地区
- ・南小泉北部地区
- ・大和地区

【広報の工夫】

- ・SNSではなく、町内会の回覧板を活用しました
- ・参加申込みはQRコードではなく、電話対応にしました


当日の様子




当日の様子




魅力・強み



学生主体による運営
(企画～実施まで一貫)



手厚いサポート体制
(少人数対応)



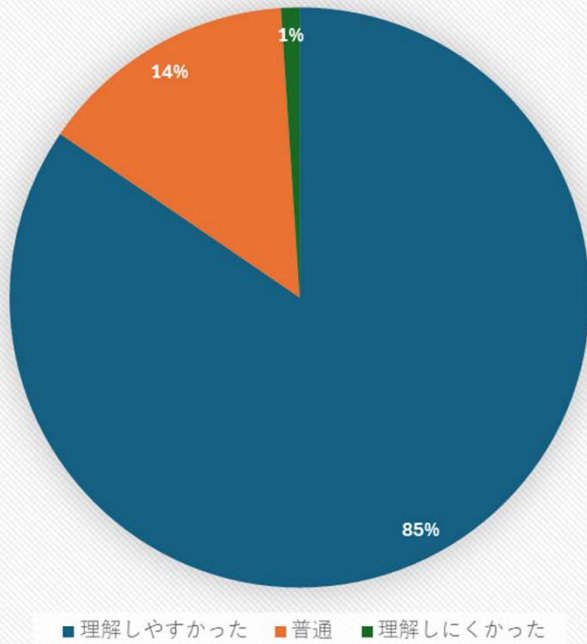
オリジナルテキスト
の作成・配布



個別相談会の実施

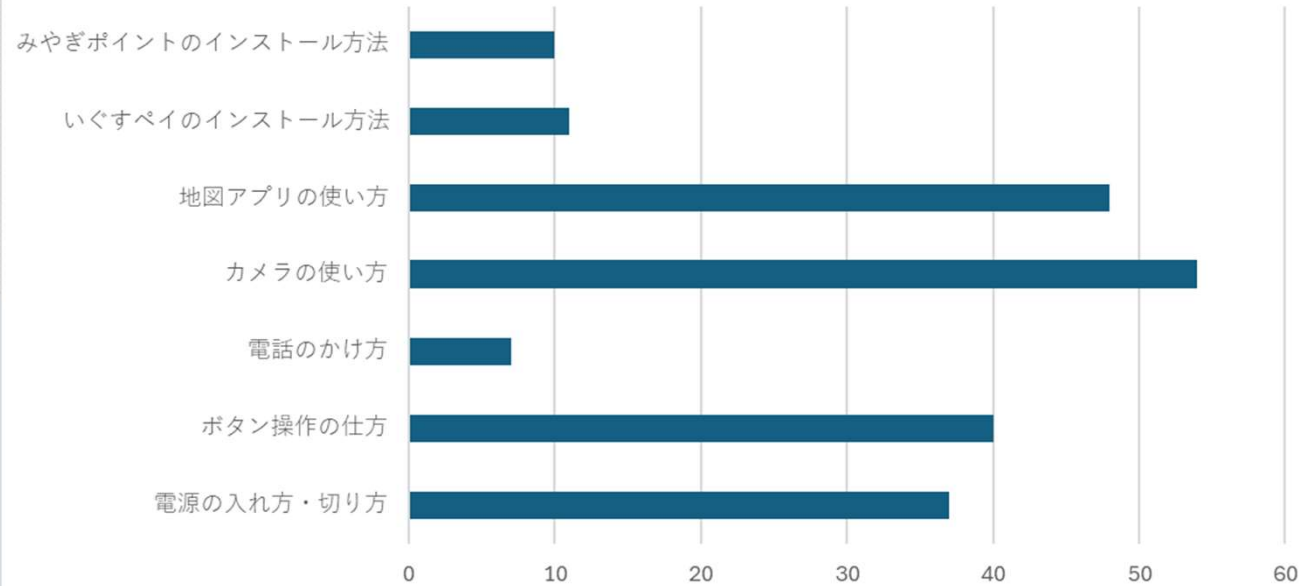
参加者の声（アンケート結果）

スマホ教室の内容は、理解しやすかったですか？



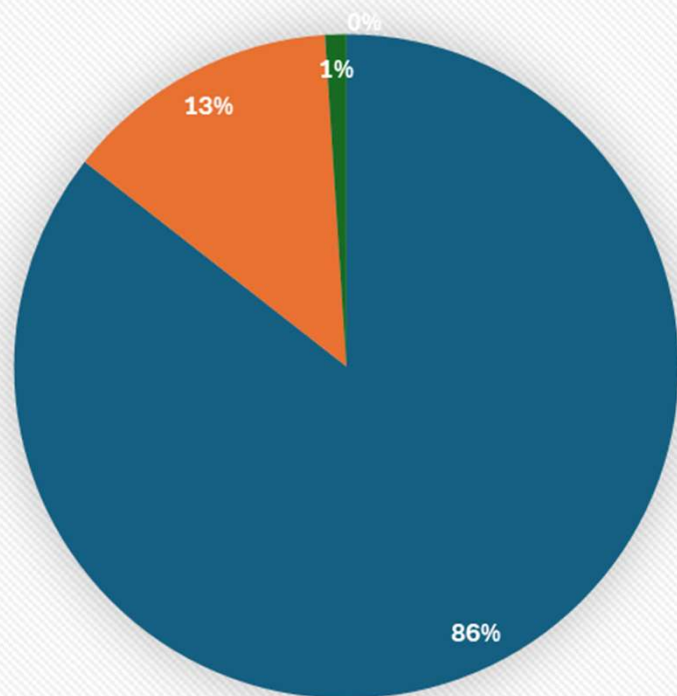
理解しやすかった 85%

特に参考になった内容を教えてください（複数回答可）



参加者の声（アンケート結果）

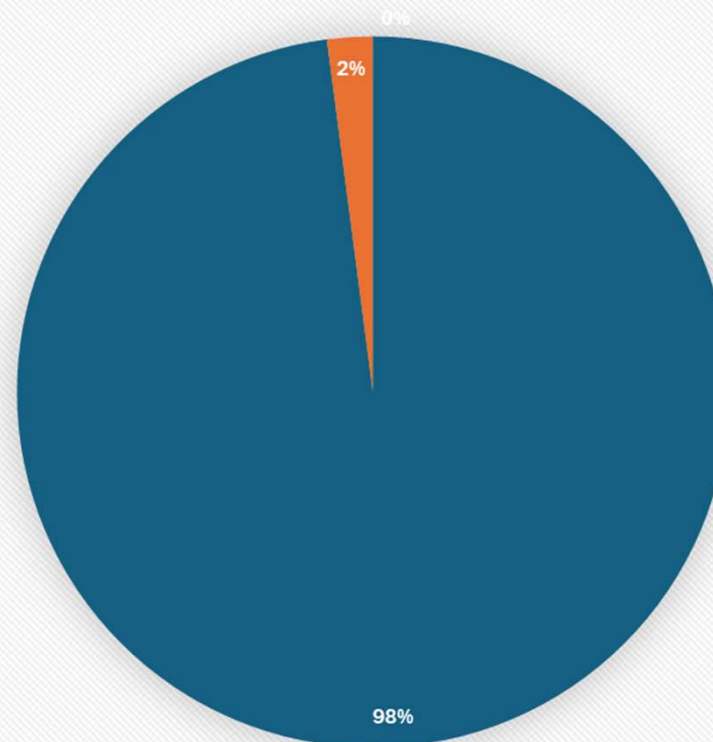
講師やサポートの対応はいかがでしたか？



■ とてもよかった ■ よかった ■ 普通 ■ あまりよくなかった

とてもよかった 86%

今後、同様の「スマホ教室」に参加したいですか？

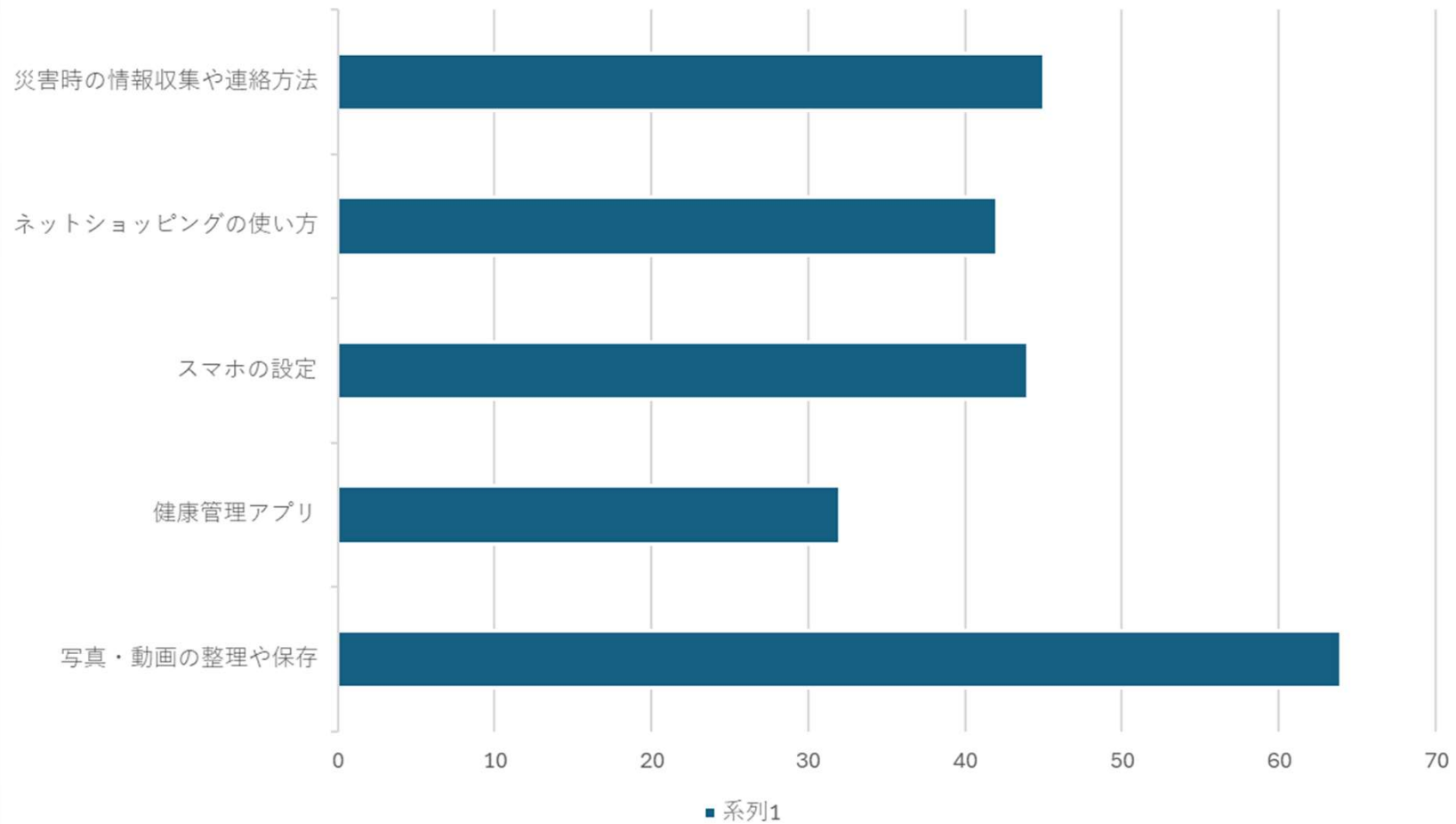


■ 参加したい ■ どちらでもない ■ あまり参加したくない

参加したい 98%

参加者の声（アンケート結果）

今後、学んでみたい内容があれば教えてください（複数回答可）



とても良かった。次回も参加したいです。親切に教えていただきました。楽しい時間でした。また宜しくお願ひします。

大変良くわかりました。(今更基本的なことが
わかっていませんでした)
ありがとうございました。

ありがとうございました。
今後ともこのような会をお願ひします。

今回の参加で1問も解決しました。
またわかる様子があつたので教えていただきました。

今日、初めての参加でしたが、
すぐに、わかりやすく、親切に教えて頂いて
ありがとうございました。感謝です。
次回もよろしくお願ひします。

今日は有難うございました。又お参り
したいと思います。

親切に教えて頂き感謝しています。
今後も続く教室を南に頂きたいです。

ありがとうございました。
楽しい、活わかったです。

ありがとうございました。
次回もよろしくお願ひします。
楽しみにしております。

今日楽しく学ばせて頂きました。
帰って復習して上達する事にします。
次日も又宜しくお願ひします。

今日二回目参加させて頂き少しわかりました。
又参加したいです。ありがとうございました。

大変良くわかりました。
ありがとうございました。

毎回参加させていたおかげです。説明もわかりやすく
助かっています。ありがとうございました。

よく覚えて、目わかりました。

わからなかった事がありお世話になり
ありがとうございました。

又、お願ひします。
いろいろとお伝えたいです。

大変良くわかりました。
ありがとうございました。

短い時間では何か何か覚えられなかった
ところも、質問もして教えてもらいました。
ありがとうございました。

課題

⇒課題を踏まえ、持続可能でより質の高い教室運営を目指していく

① 継続的な実施に向けた資金の確保

【課題】 スマホ教室のニーズは高く継続要望も多いが、運営資金が不足しており継続が困難な状況。

【対応方針】 助成金の活用や行政・企業との連携を検討し、安定した運営体制の構築を目指す。

② 申込受付体制（電話対応）の改善

【課題】 電話申込みを中心としているが、授業等により対応できない時間が多い。

【対応方針】 Webフォームやメール受付の導入により、時間に依存しない申込体制を整備する。

③ 個別相談の時間不足

【課題】 参加者数が想定以上に多く、個別相談に十分な時間を確保できない。

【対応方針】 相談時間の拡大や別日での相談会実施、事前に質問を収集する仕組みの導入などにより、効率的かつ丁寧な対応を目指す。

④ 指導内容の限界

【課題】 学生主体であるため、対応できる内容に限りがある。

【対応方針】 事前に対応可能な内容を明確化するとともに、必要に応じて外部講師や専門機関との連携を検討する。また、学生自身のスキル向上にも取り組み、対応範囲の拡大を図る。

予算

<収入>

令和7年度わかばやし若者まちづくりプロジェクト支援事業助成金	100,000
自己資金	83,307

<支出>

会場費 (⑨1,860 + ⑩2,480 + ⑪2,480 + ⑫1,240 + ①3,720 + ②3,720)	15,500
チラシ印刷代 (⑩⑪25,245 + ⑫25,080 + ①②25,080)	75,405
郵送費 (⑩⑪13,560 + ⑫13,510 + ①②13,600)	40,670
参加者のお茶代 (1,045 + 1,706 + 5,367 + 2,306) ※128本	10,424
消耗品 (クリップ + 保冷バッグ)	822
印刷用紙代 (1,070 * 6冊)	6,420
インク代	12,166
ラベル代	900
交通費 (仙台駅～薬師堂駅の往復) 420円 * 50	21,000

今後の展望

① 継続的な活動の実施

単発の講座で終わらせるのではなく、定期的にスマホ教室を開催することで、参加者が継続的に学べる環境を整えていきます。また、参加者同士の交流の場としての役割も持たせ、地域コミュニティの活性化にもつなげていきます。

② 内容の更新・ニーズへの対応

スマートフォンやアプリは日々進化しているため、最新の情報に対応した内容へと随時アップデートしていきます。加えて、参加者の声やつまづきやすいポイントをもとに、より実生活に役立つ内容へと改善していきます。

③ 町内会へのフォローアップ体制の構築

講座実施後も、町内会単位での相談対応や簡易的なサポートを行い、継続的なデジタル活用を支援します。将来的には、地域内で教え合える仕組み（担い手の育成）を目指します。

謝辞

本事業の実施にあたり、
活動を支えてくださいました皆さまに
心より感謝申し上げます。



これからも、すべての世代が安心してデジタル社会を
生きるための情報教育支援を行います。

TGU情報リテラシー教室



tgu.datascience@gmail.com

〒984-8588 仙台市若林区清水小路3-1

東北学院大学五橋キャンパス

代表 浅野圭亮

